

光化学スモッグ予報等発令状況、被害発生状況等について

1 本県の光化学スモッグ緊急時発令状況及び被害状況の経年変化

本県の光化学スモッグ被害者については、昭和50年度に1,787人を数えたのをピークに減少し、昭和58年度から平成16年度までは、被害者は発生していない。

しかし、平成15年度以降、再び、光化学スモッグ予報等の発令が増えてきており、平成17年度には、23年ぶりに県内で健康被害が発生し、今年6月27日には、豊橋市及び田原市で県内史上2番目となる771名に健康被害が発生した。

(昭和46年度～平成19年度)

H20.1末現在

年 度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
注意報発令日数	1	5	8	2	6	3	2	0	0	1	0	0	2	2
予報発令日数	8	15	11	5	0	1	2	0	0	0	0	1	2	2
被害届出人数	277	716	330	151	1,787	69	15	12	3	10	7	3	0	0

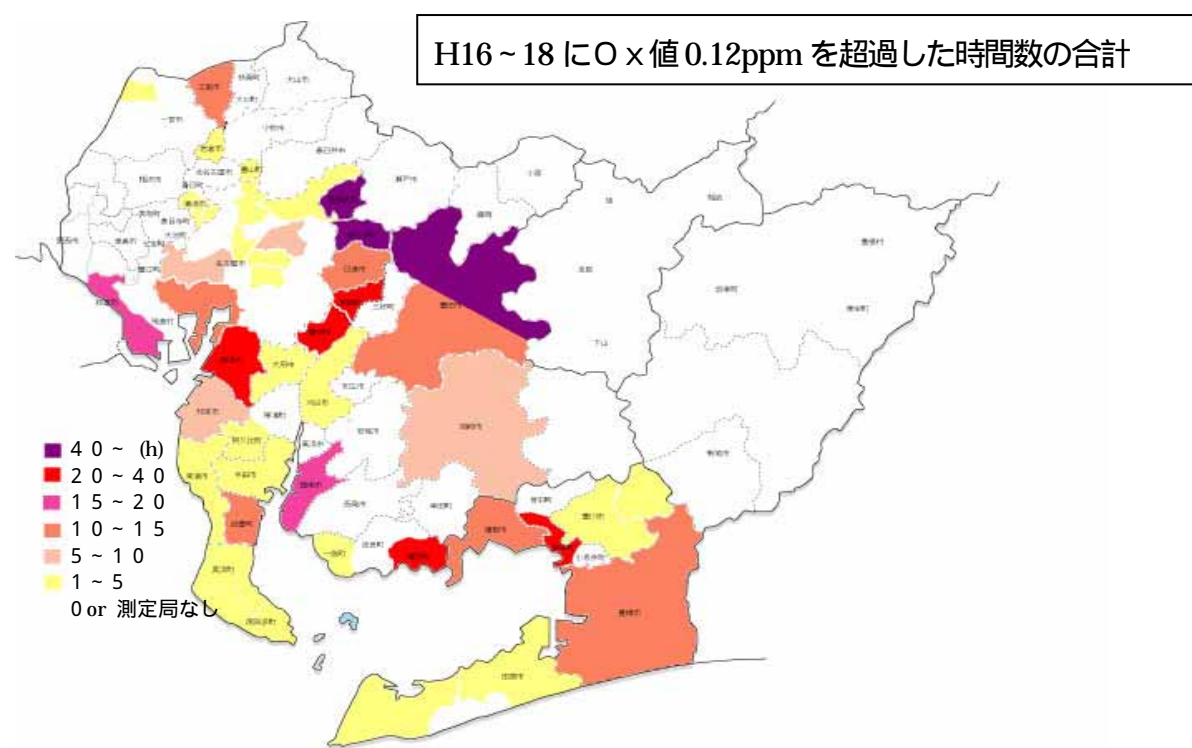
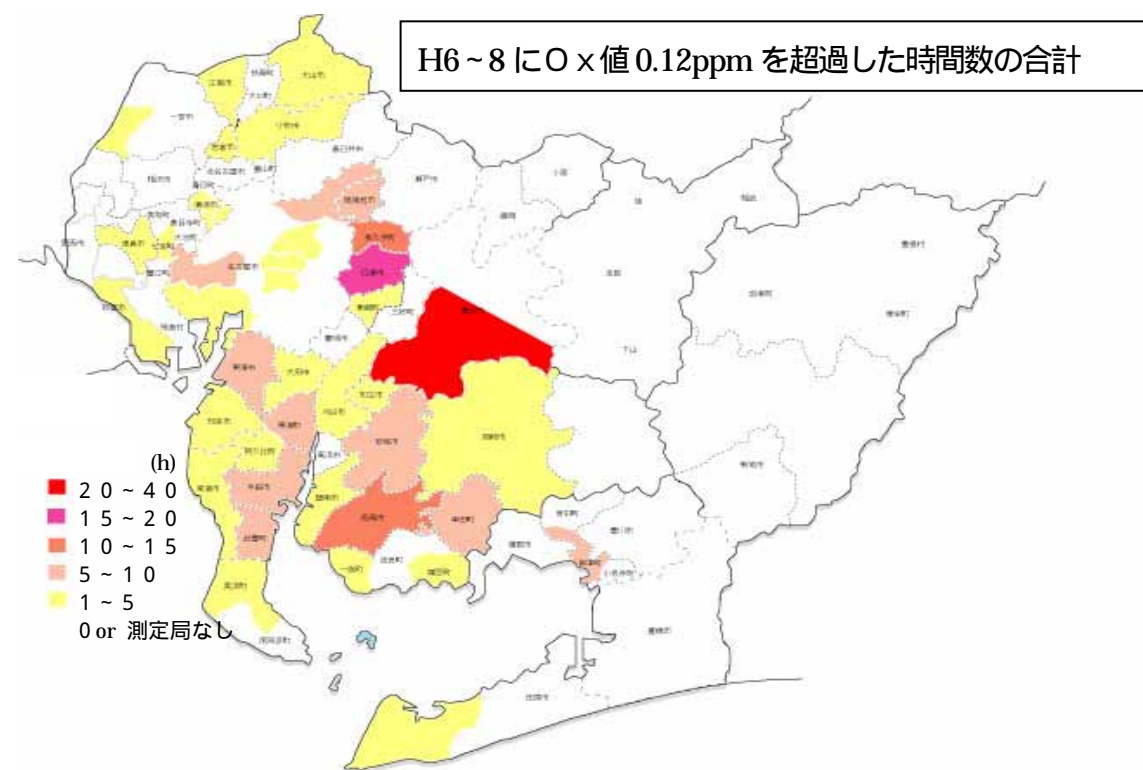
年 度	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
注意報発令日数	6	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1
予報発令日数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害届出人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年 度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
注意報発令日数	0	0	0	0	1	0	1	2	5	54
予報発令日数	0	0	0	0	0	4	5	5	5	68
被害届出人数	0	0	0	0	0	0	2	0	771	4,153

予報から注意報に切り替えた場合は注意報発令日数のみに計上

2 光化学オキシダント高濃度発生状況(10年前との比較)

最近3年間(平成16～18)のOx測定値が0.12ppm以上だった時間数の合計を地図上に表すと、測定地点は10年前の3年間(平成6～8)に比べ増加している(71局中38局 73局中45局)また、0.12ppm以上の時間数の合計は166時間から539時間に増加しており、特に20時間以上の測定地点が増加している。



5 新聞記事



3 平成19年度の発令状況について

発令日数 10日(うち休日等の発令1日)

発令日	発令の種類	発令区域	対象市町村	最高濃度(単位ppm)
5.9(水)	予報	名古屋	名古屋市	0.130(守山保健所)
	予報	豊田	豊田市(都市計画区域内に限る)	0.132(豊田市中部)
5.23(水)	予報	"	"	0.131(豊田市中部)
6.27(水)	注意報	"	"	0.137(豊田市中部)
6.28(木)	注意報	"	"	0.138(豊田市中部)
7.25(水)	注意報	"	"	0.152(豊田市中部)
	注意報	名古屋	名古屋市	0.144(守山保健所)
7.28(土)	予報	豊橋	豊橋市	0.127(富本)
8.10(金)	注意報	豊田	豊田市(都市計画区域内に限る)	0.137(豊田市中部)
8.16(木)	注意報	"	"	0.138(豊田市中部)
9.4(火)	予報	名古屋	名古屋市	0.131(守山保健所)
	予報	尾張北西	一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、豊山町、春日町、大口町、扶桑町	0.126(岩倉市中本町)
	予報	尾張東	豊明市、日進市、東郷町、長久手町、三好町	0.128(長久手中学校)
	予報	豊田	豊田市(都市計画区域内に限る)	0.131(豊田市中部)
9.5(水)	予報	名古屋	名古屋市	0.153(鳴海排水場)
	予報	尾張北西	一宮市、犬山市、江南市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、豊山町、春日町、大口町、扶桑町	0.130(岩倉市中本町)
	予報	尾張東	豊明市、日進市、東郷町、長久手町、三好町	0.130(長久手中学校)

7月27日に発令区域を拡大した後は、9月4日、5日の2日間、尾張北西及び尾張東区域に予報を発令した。

4 平成19年6月27日の光化学スモッグによる被害届出状況

区域名	日時	場所	職業	人数	被害内容	措置状況
豊橋	6月27日(水)	豊橋市田原市()	児童・生徒等	771人	咳、胸の苦しさ、喉のつかえ、息苦しさ	うがい等により完治

当時、田原市は区域外(7月27日より田原区域となった。)